

# 進路指導部便り

令和5年10月27日  
第5号  
東京都立七生特別支援学校長  
黒澤 一慶

## 高等部3年生のⅡ期現場実習の報告

高等部3年生のⅡ期現場実習がはじまりました。卒業後の進路を『決定する』大切な実習です。

福祉事業所は、実習を通して、仕事内容や生活環境が本人に合っているのか、現在の利用者との関係は良いか等、様々な面を事業所、本人・保護者が互いに確認し、通所先を決定していきます。

企業は、「高等学校等新規卒業者の採用選考」のルールにのっとり、求人票が届いたら、生徒たちは内容を確認し、この求人に応募するか否かを決めていきます。その後、採用選考を経て、合否が決まっていきます。

そこで、第一希望の事業所から『選ばれる』ために重要となるのが、これまでの実習等で事業所からいただいた評価(課題)を『どれだけ改善できるか』になります。

そのため、Ⅱ期現場実習の前には、Ⅰ期現場実習で実習先からいただいた評価表を基に、個別面談を行います。評価表では、「支援者の顔を見て、報告・連絡・相談ができていない」、「時間を見て、仕事ができない」等の学校生活で再度取り組む必要がある内容や、「通所時の身だしなみが整っていない」、「連絡をせずに、遅刻をした」等、御家庭・寮職員と協力して、改善に取り組む内容がありました。このような課題を本人・保護者・寮職員、担任、進路専任とで明確にし、日々の生活で取り組んでいきます。具体的には、LHR や職業の時間で、Ⅱ期現場実習に向けての目標を設定し、作業学習の時間を中心に自分の課題の改善に取り組みました。また、多くの御家庭や寮職員から、御理解と御協力をいただくことができ、生活の場面でも、時間を見て行動することを促していただいたり、朝の身支度の支援をいただいたりと、課題の改善に努めることができました。生徒たちの頑張りは、しっかり事業所より評価されており、多くの生徒がⅠ期現場実習よりも良い評価をいただけています。

進路指導部では、今後とも卒業後の進路先の決定と、円滑な地域移行をしっかりとサポートしてまいります。3学期には『個別移行支援会議』も設定していますので、今後とも変わらず御理解と御協力をよろしくお願い致します。

## 進路選択の概要

卒業後の進路先を考える際に「何を基準にするとよいのか」「何ができるようになると、どのような進路先に行けるのか」という質問を受けることがあります。本校の卒業生の多くが「生活介護・就労継続支援B型・就労継続支援A型・就労移行支援・企業」へ就労しています。今回は、この5つの進路先を考える際に、本人の日常生活スキルや、就労に関するスキルの習得状況を中心とした表を作成しましたので、御参考にしてください。あくまで、一般的なものでありますので、事業所により、求められる力等は変わってきます。表は本紙の裏面にございます。

## 進路指導個別面談のお知らせ

11月も、進路指導主任及び進路専任による進路個別相談日を設けています。お子様の進路に関する悩みごとや相談ごとについて、保護者、七生福祉園職員の方が相談できる機会です。どうぞ、お気軽にお申し込みください。時間は1回につき40分程度です。11月の相談日は**24日(金)**です。相談を希望される方は、下記の申し込み票を御記入の上、11月6日(月)までに御提出ください。

----- きりとり -----

### 〈 進路個別相談 申し込み票 〉

11月24日(金)の進路個別相談に申し込みます。

(小・中・高) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 組 児童・生徒名 \_\_\_\_\_

保護者・担当者名 \_\_\_\_\_

御希望の相談時間 ①9:30~ ②10:30~ ③11:30~

第1希望 \_\_\_\_\_ 第2希望 \_\_\_\_\_ 第3希望 \_\_\_\_\_

家庭・寮 → 担任 → 進路指導部